

令和6年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【小学校】

1 模擬授業の内容について

- (1) 教科 : 算数
- (2) 学年 : 第2学年
- (3) 単元名 : たし算とひき算
- (4) 授業概要 : 個別に指導する場面において、児童の学習状況を把握しながら、数学的に考える資質・能力の育成につながるよう指導を行う。

【授業の内容】

あなたは小学校2年生の算数を担当しています。

「A数と計算 (2) 加法、減法 (エ) 加法と減法の相互関係の問題として、児童が次の問題に取り組んでいます。

<もんだい>

きのう ペットボトルを 18本 あつめました。

今日も ^{なん}何本か あつめました。

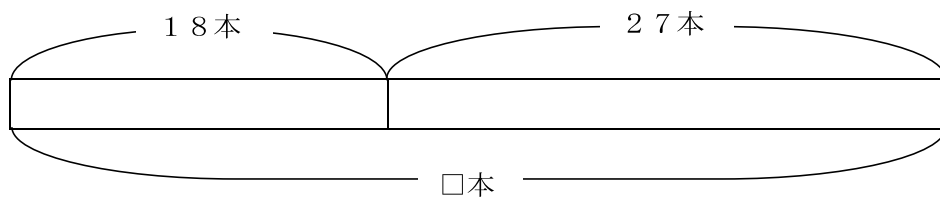
合わせて 27本に なりました。

今日は 何本 あつめましたか。

【指導の場面】

A児が、「学しゅうプリント」に、自分の考えを以下のようにまとめました。A児の学習状況を把握しながら、個別指導をください。

【自分の考え】



しき $18 + 27 = 45$

答え 45本

2 実施方法について

- (1) 受験者が模擬授業を行う時間は4分以内とする。
- (2) 入室後、**別紙**の「学しゅうプリント」が置かれた机の前に立ち、受験番号を言う。試験委員の「はじめてください」の合図で、模擬授業を開始する。
- (3) 4分以内で模擬授業を行った後、試験委員が、模擬授業について質問をする。
- (4) 受験者はその質問に答える。
- (5) 黒板や大型モニター等、試験会場にある備品は使用できない。
- (6) 持ち込み可能なものは、児童の個別指導をするために必要なものとする。(受験者自身が必要とするものを持ち込んでよい。) 持ち込んだものを準備する時間も模擬授業の時間の中に含まれる。
- (7) 2次試験前までに作成したメモを見ながら、授業を行っても構わない。

【メモについて】

- ・メモのサイズや量は問わない。
- ・授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
- ・本や教材などをコピーしたものでも可。

- (8) 試験会場には、**別紙**の「学しゅうプリント」のみ準備している。
- (9) その場に児童がいると想定して模擬授業を行う。模擬授業中は、試験委員とのやり取りは一切できない。
- (10) **別紙**の「学しゅうプリント」に書き込みながら模擬授業を行ってもよい。書き込む筆記用具は各自持参する。
- (11) 模擬授業終了後、**別紙**の「学しゅうプリント」は各自持ち帰る。

学しゅうプリント

<もんだい>

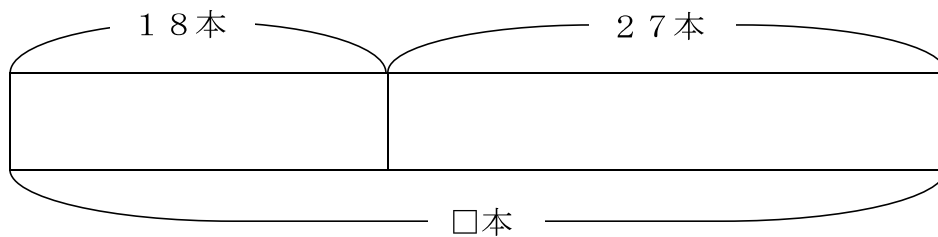
きのう ペットボトルを 18本 あつめました。

今日も ^{なん}何本か あつめました。

合わせて 27本に なりました。

今日は 何本 あつめましたか。

【自分の考え】



しき $18 + 27 = 45$

答え 45本